

はじめに

21世紀の国土づくりの方向性を示した、全国総合開発計画「21世紀の国土のグランドデザイン - 地域の自立の促進と美しい国土の創造 - 」(平成10年3月策定)には、地域間の連携を中心に据えた新しい国土づくりの考え方、そのための地域交通体系の重要性が示されております。

全国総合開発計画が描く望ましい国土、交通体系の整備に向けて、地域が自らの選択と責任において、積極的に地域づくりに取り組むことが求められ、地域のトータルコーディネーターとしての地方自治体の役割は、ますます重要になっております。

こうした状況を踏まえ、当室におきましては、「21世紀の国土のグランドデザイン」を推進する立場から、地方自治体の交通政策に携わる方々が地域の交通計画を検討する際の参考に供すべく、「地域交通ガイダンス」を発行しています。本ガイダンスは、地域の交通計画の検討に係る様々な課題について、最新かつ有益な情報、ノウハウを提供することにより、地域が交通課題に主体的に取り組む際の「みちしるべ」役を担うことを目的としております。

このガイダンスが、交通に携わる地方自治体の方々に広く活用され、新しい全国総合開発計画が目指す地域づくり、国土づくりが進むことを期待いたします。

今回のガイダンスでは、「21世紀の国土のグランドデザイン」で示された地域間の連携・交流の拡大による活力ある地域づくりを促進するための具体的施策の一つとして、観光振興と交通基盤整備との関連性について取り扱っております。

交通機関の整備、特に高速交通網の整備は、観光等を通じて地域間の交流拡大に大きな効果があると考えられますが、一方で相対的に交通の利便性が低下した結果、交流が減少するなど負の効果が及ぶ地域もあります。また、観光地が魅力的であるが故に交通面での不便さが観光需要に影響しなかったり、逆に不便さが観光地の魅力度を増している地域もあります。

このように観光と交通とは密接な関係を持っており、観光振興を通じて活力ある地域社会を構築するためには、交通整備と観光振興が相互に及ぼしあう影響や効果を十分に念頭において、諸施策を講じていくことが必要であると考えられます。

本号は、以上のような問題意識のもとで、地方自治体の担当課が観光と交通に係る施策を実施する際の手引書として、各地で取り組まれている先進事例や有識者からのヒアリングを基にして作成したものです。

本号が活用され、活力ある地域づくりの一助となれば幸甚です。

平成14年7月 国土交通省 政策統括官付 政策調整官室